

月次改訂

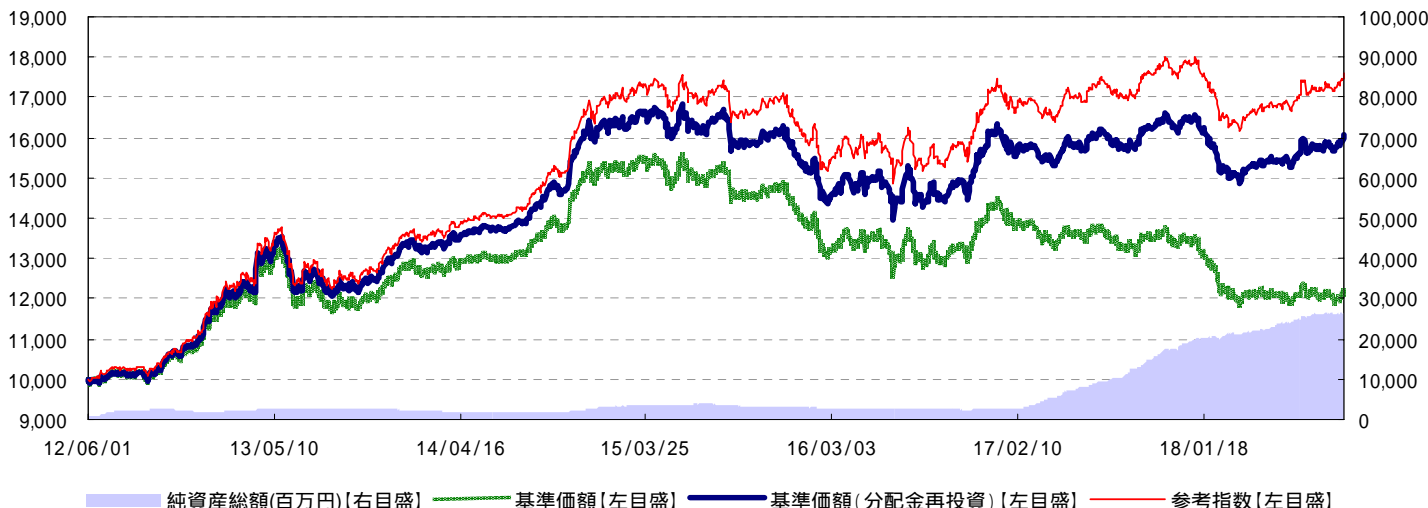
2018 / 09

三菱UFJ / AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)
【愛称:世界のいしずえ】

追加型投信/内外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)、参考指数は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

参考指数は、ブルームバーグ・バークレイズ米国社債インデックスの公益、通信、エネルギー、運輸セクターの合成インデックス(円換算ベース)です。ブルームバーグ・バークレイズ米国社債インデックスは、従前、バークレイズ米国社債インデックスと呼ばれていました。ブルームバーグは2016年8月24日にブルームバーグ・バークレイズ指数をバークレイズから取得しました。ブルームバーグ(BLOOMBERG)は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)の商標およびサービスマークです。バークレイズ(BARCLAYS)は、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ビーエルシー(Barclays Bank Plc)の商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックス(BLOOMBERG BARCLAYS INDICES)に対する一切の独占的権利を有しています。合成インデックス(円換算ベース)は、ブルームバーグ・バークレイズ米国社債インデックスの公益、通信、エネルギー、運輸セクターの各インデックス(米ドルベース)を合成したものをもとに、委託会社が計算したものです。

ファンドの現況

	2018/09/28	前月末	前月末比
基準価額	12,203円	12,085円	+118円
純資産総額(百万円)	26,584	26,347	+236

	基準価額	日付
設定来高値	15,565円	2015/06/01
設定来安値	9,895円	2012/06/05

運用資産構成

	2018/09/28	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	92.76%	88.08%	4.69%
内 現物	98.15%	98.25%	-0.10%
内 先物	-5.39%	-10.17%	4.78%
その他現金等	1.85%	1.75%	0.10%

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・デュレーション調整等のため、債券先物等を組み入れています。
- ・運用資産構成比率の合計値は、「先物」を除くと100%になります。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.83%	4.01%	6.00%	-0.89%	1.33%	60.77%
参考指数	1.95%	4.28%	6.73%	0.22%	6.13%	75.99%
差	-0.12%	-0.27%	-0.73%	-1.10%	-4.80%	-15.23%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ / AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) [愛称:世界のいしずえ]

分配金実績(税引前)

設定来累計					
3,590円					
第75期 (18/09/10)	第74期 (18/08/10)	第73期 (18/07/10)	第72期 (18/06/11)	第71期 (18/05/10)	第70期 (18/04/10)
100円	100円	100円	100円	100円	100円
第69期 (18/03/12)	第68期 (18/02/13)	第67期 (18/01/10)	第66期 (17/12/11)	第65期 (17/11/10)	第64期 (17/10/10)
100円	100円	100円	100円	100円	100円
第63期 (17/09/11)	第62期 (17/08/10)	第61期 (17/07/10)	第60期 (17/06/12)	第59期 (17/05/10)	第58期 (17/04/10)
100円	100円	100円	100円	100円	100円
第57期 (17/03/10)	第56期 (17/02/10)	第55期 (17/01/10)	第54期 (16/12/12)	第53期 (16/11/10)	第52期 (16/10/11)
100円	100円	30円	30円	30円	30円
第51期 (16/09/12)	第50期 (16/08/10)	第49期 (16/07/11)	第48期 (16/06/10)	第47期 (16/05/10)	第46期 (16/04/11)
30円	30円	30円	30円	30円	30円
第45期 (16/03/10)	第44期 (16/02/10)	第43期 (16/01/12)	第42期 (15/12/10)	第41期 (15/11/10)	第40期 (15/10/13)
30円	30円	30円	30円	30円	30円

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

利回り・デュレーション・平均残存期間

最終利回り	4.49%
直接利回り	4.50%

デュレーション	8.59年
平均残存年数	13.21年

- データはAMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドより提供された運用ポートフォリオベース(債券先物を含む)のものです。
- 最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- 直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- 利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- 平均残存年数は、各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。

債券の格付分布

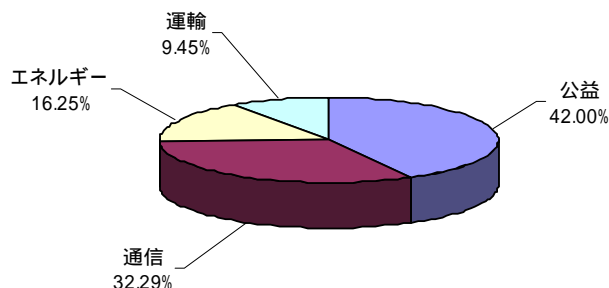
平均格付	BBB
------	-----

平均格付とは、基準日時点で当該ファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該ファンドに係る信用格付ではありません。

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.00%	0
AA格	2.00%	3
A格	11.96%	29
BBB格	84.20%	181
BB格以下	0.00%	0
無格付	0.00%	0

- 比率は純資産総額に対する割合です。
- 格付の振分基準は以下の通りです。
 - AAA格(AAA, Aaa)
 - AA格(AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
 - A格(A+, A, A-, A1, A2, A3)
 - BBB格(BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
 - BB格(BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- 原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付(国の発行体格付)を採用しているものがあります。
- 格付の表示にあたっては、S&P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社の3社のうち2番目に高い格付を採用します。2社の格付のみの場合には、低い方の格付を採用、1社の格付のみの場合にはその格付を採用します。

業種別組入比率



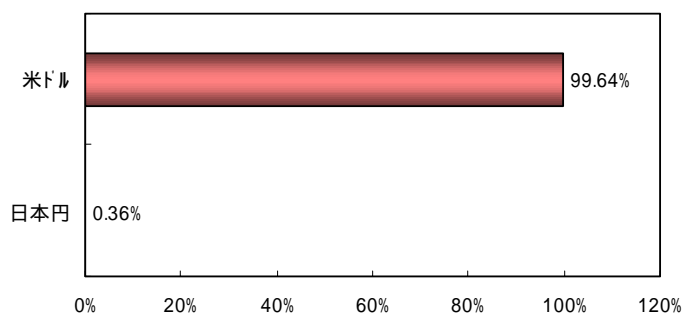
- 比率は現物債券評価額に対する割合です。
- 業種分類は、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドが債券の発行体企業(保証会社)について独自に分類したものです。
- その他は、米国債等です。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

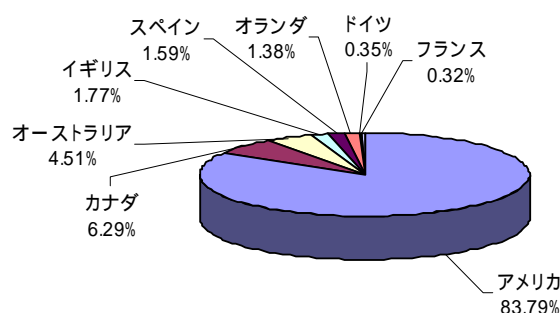
三菱UFJ / AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) [愛称:世界のいしずえ]

通貨別構成比



・比率は[外貨建て純資産-為替ヘッジ]で計算しており、通貨別のみた実質比率を表します。

組入上位10カ国



・比率は現物債券評価額に対する割合です。
・国名は、BloombergのCountry of Riskの分類を採用しています。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 213 銘柄)

順位	銘柄	業種	クーポン	償還日	国名	比率
1	4.75 PACIFIC NATI 280322	運輸	4.750%	2028/03/22	オーストラリア	2.43%
2	3.9 FIRSTENERGY C 270715	公益	3.900%	2027/07/15	アメリカ	2.09%
3	4.908 CCO SAFARI 250723	通信	4.908%	2025/07/23	アメリカ	2.07%
4	3.1 PPL CAPITAL F 260515	公益	3.100%	2026/05/15	アメリカ	1.98%
5	4.125 VERIZON COM 270316	通信	4.125%	2027/03/16	アメリカ	1.91%
6	2.95 ENTERGY CORP 260901	公益	2.950%	2026/09/01	アメリカ	1.80%
7	3.25 SOUTHERN CO 260701	公益	3.250%	2026/07/01	アメリカ	1.40%
8	4.125 MPLX LP 270301	公益	4.125%	2027/03/01	アメリカ	1.39%
9	3.49 NISOURCE FIN 270515	公益	3.490%	2027/05/15	アメリカ	1.35%
10	3.375 COMCAST COR 250815	通信	3.375%	2025/08/15	アメリカ	1.30%

・比率は純資産総額に対する割合です。
・国名は、BloombergのCountry of Riskの分類を採用しています。
・業種名は、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドが債券の発行体企業(保証会社)について独自に分類したものです。業種名「その他」は、米国債等です。

基準価額騰落要因

(単位:円)

	日付	基準価額 (分配落後)	前期比	為替要因	外国債券	その他 (信託報酬等)	分配金
第65期	2017/11/10	13,521	44	76	83	15	100
第66期	2017/12/11	13,499	22	29	66	17	100
第67期	2018/01/10	13,230	269	140	15	14	100
第68期	2018/02/13	12,471	759	434	211	14	100
第69期	2018/03/12	12,074	397	200	83	14	100
第70期	2018/04/10	12,060	14	23	121	12	100
第71期	2018/05/10	12,086	26	355	216	13	100
第72期	2018/06/11	11,935	151	62	26	15	100
第73期	2018/07/10	12,065	130	178	64	12	100
第74期	2018/08/10	12,036	29	16	101	14	100
第75期	2018/09/10	11,893	143	1	31	13	100

・上表の要因分析は、組入債券の値動き、為替変動の影響等が基準価額に与えた影響をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
・騰落要因分析は決算期間で行っております。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ / AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) 【愛称:世界のいしずえ】

運用担当者コメント

債券市況

【インフラ債券市況は下落】

9月(8月30日～9月27日)のインフラ債券市況は下落しました。米国で発表された経済指標が概ね堅調であったことや、原油価格の上昇等を背景に市場のインフレ期待が高まったこと等を受けて、米国長期金利は上昇しました。月を通して見ると、米国長期金利が上昇したこと等がマイナスとなり、インフラ債券市況は前月末比で下落しました。

運用状況

【基準価額(分配金再投資)は上昇】

当ファンドは、AMP グローバル・インフラ債券マザーファンドへの投資を通じて、世界の米ドル建てインフラ債券を高位に組み入れる運用を行いました。

当ファンドが投資するAMP グローバル・インフラ債券マザーファンドでは、デュレーションについては債券先物を適宜活用しつつ、市場平均と比べてやや短めの水準としました。格付別では、BBB格の組入比率を市場対比多めとしました。セクター別では、運輸を市場対比多めの配分とし、エネルギーを少なめとしました。

上記のような運用を行った結果、インフラ債券市況が下落したことはマイナスとなったものの、米ドルが対円で上昇したこと等がプラスとなり、当ファンドの基準価額は前月末と比べて上昇しました。なお、当期(9月)の分配金につきましては、1万口当たり100円とさせていただきます。

今後の運用方針

【デュレーションは機動的に調整、BBB格の組入比率は市場対比多めを維持】

米国で直近発表された経済指標は概ね堅調で、基調としては緩やかな経済回復が継続すると見えています。これは企業の経営環境、ひいてはインフラ債券市況のサポート要因になると考えます。一方、中国をはじめとした新興国経済や原油など国際商品市況の動向などが金利やクレジットスプレッドに及ぼす影響については、引き続き注意を払う必要があると考えます。こうした環境下、デュレーションについては、適宜債券先物を活用しつつ、状況に応じて機動的に対応する方針です。格付配分においては、投資適格の中では相対的に利回りが高いBBB格の組入比率を市場対比多めとする方針を維持します。

当レポートは、運用委託先であるAMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドの資料に基づいて三菱UFJ国際投信が作成いたしました。

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。
また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ / AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) 【愛称:世界のいしずえ】

債券組入上位10銘柄コメント

1	4.75 PACIFIC NATI 280322 (Pacific National Finance Pty Ltd) (パシフィック・ナショナル・ファイナンス)	パシフィック・ナショナルの金融子会社。豪州に本拠を置き、港湾、鉄道運営等を手掛けるパシフィック・ナショナルの資金調達を担う。
2	3.9 FIRSTENERGY C 270715 (FirstEnergy Corp.) (ファーストエナジー)	米国に本拠を置く公益事業持株会社。子会社を通じ、発電・送電・配電等の事業を手掛ける。
3	4.908 CCO SAFARI 250723 (Charter Communications Operating, LLC) (チャーター・コミュニケーションズ ・オペレーティング)	米国の大手通信業者であるチャーター・コミュニケーションズの子会社で、ケーブルテレビやインターネット、電話サービス等の事業を手掛ける。
4	3.1 PPL CAPITAL F 260515 (PPL Capital Funding, Inc.) (PPLキャピタル・ファンディング)	PPLの金融子会社。米国に本拠を置き、発電及び電力の供給などを手掛けるエネルギー・公益事業会社PPLの資金調達を担う。
5	4.125 VERIZON COM 270316 (Verizon Communications Inc.) (ベライゾン・コミュニケーションズ)	米国に本拠を置く大手の通信事業者で、電話交換回線や携帯電話の提供をはじめとした各種電話サービス、インターネット事業等を手掛ける。
6	2.95 ENTERGY CORP 260901 (Entergy Corporation) (エンタジー)	米国で原子力発電所等の発電施設を所有・運営し、発電および配電事業等を手掛ける総合公益企業。
7	3.25 SOUTHERN CO 260701 (The Southern Company) (サザン)	米国に本拠を置く公益事業持株会社。子会社を通じ、発電や電話サービス、インターネット事業等を手掛ける。
8	4.125 MPLX LP 270301 (MPLX LP) (MPLX)	米国でパイプラインを所有し、天然ガスや原油等を収集・輸送・貯蔵する事業等を手掛ける。
9	3.49 NISOURCE FIN 270515 (Nisource Finance Corp.) (ナイソース・ファイナンス)	米国で、天然ガスの輸送・貯蔵・配送事業や、発送電事業を手掛ける、大手企業ナイソースの金融子会社。
10	3.375 COMCAST COR 250815 (Comcast Corporation) (コムキャスト)	米国に本拠を置くメディアおよびテレビ放送会社で、ケーブルテレビやインターネット等の通信事業を手掛ける。

・銘柄名()書きは債券の発行体企業(保証会社含む)です。銘柄コメントは当該発行体企業について記載しています。

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。
また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。
表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

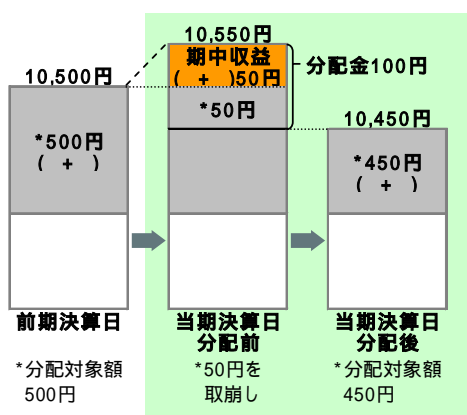


分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

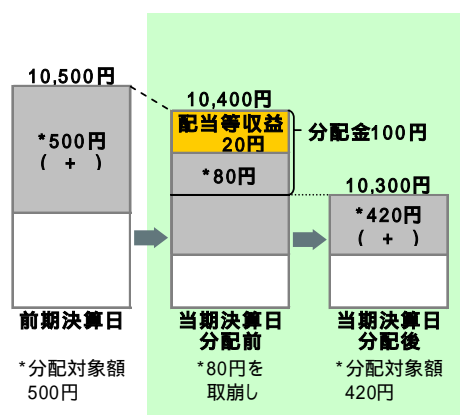
分配対象額は、経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益ならびに分配準備積立金および収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



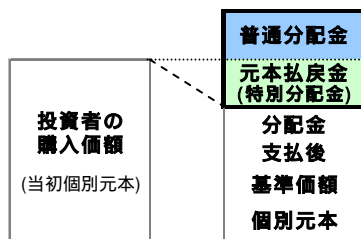
上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

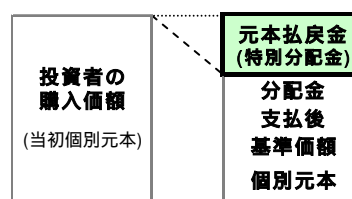
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

[金額を指定して購入する場合]

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

[口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料 = (10,000円 ÷ 1万口) × 100万口 × 手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくことになります。

三菱UFJ / AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)【愛称:世界のいしずえ】

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

世界のインフラ関連企業が発行する米ドル建て債券を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

投資対象 世界のインフラ関連企業が発行する米ドル建て債券等が実質的な主要投資対象です。

・インフラ関連企業とは、公益、通信、エネルギーおよび運輸等の日常生活に必要不可欠なサービスを提供する企業をいい、当該企業が発行する米ドル建て債券等をインフラ債券といえます。

運用方法 債券への投資にあたっては、マクロ要因分析、業種分析、個別企業の財務・業務分析等の信用リスク分析に基づき、銘柄選定を行います。

・投資する債券は、原則として取得時においてBBB - 格相当以上の格付けを取得しているものに限り、

・デューレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。また、ファンドの流動性等を勘案して、一部、米国国債等に投資する場合があります。

運用の委託先 債券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。

為替対応方針 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのコースがあります。

・「為替ヘッジなし」コースは、原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

ファンドの仕組み

・運用は主にAMP グローバル・インフラ債券マザーファンドへの投資を通じて、世界の米ドル建てインフラ債券等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

・各ファンド間でスイッチングが可能です。なお、スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

分配方針

・毎月の決算時(10日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のペビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ / AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)【愛称:世界のいしずえ】
手続・手数料等
お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、シドニーの銀行の休業日 ・ニューヨーク、シドニーにおける債券市場の取引停止日 具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
スイッチング	各ファンド間でのスイッチングが可能です。 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。 スイッチングを行う場合の購入時手数料は、販売会社が定めています。また、スイッチングにより解約をする場合は、解約金の利益に対して税金がかかります。 くわしくは販売会社にご確認ください。
信託期間	2022年5月10日まで(2012年6月1日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が30億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎月10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ / AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)【愛称:世界のいしずえ】
手続・手数料等
ファンドの費用
お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限2.16% (税抜 2%)** (販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率1.296% (税抜 年率1.2%)**をかけた額

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufig.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120 - 151034

(受付時間 営業日の9:00 ~ 17:00)

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

ファンド名称: 三菱UFJ / AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

商号 (*は取次販売会社)	登録番号等	日本証券業 協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号				
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号				
株式会社 三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
株式会社 三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号				
埼玉縣信用金庫*	登録金融機関 関東財務局長(登金)第202号				